

福岡県の乳用牛飼養農場で国内初のランピースキン病が発生しました!!

ランピースキン病はアジアで発生が拡大している牛の感染症です。感染すると生産性に影響を及ぼすため、本病を疑う場合は早期の通報をお願いします。

原因：ランピースキン病ウイルス（人に感染することはありません）

感染経路：蚊・ハエ・ダニの媒介による機械的伝播

症状：全身の皮膚の結節、泌乳量の減少、発熱、鼻汁

ランピースキン病を疑う症状

発熱、鼻汁

皮膚の結節

泌乳量の低下

リンパ節の腫大



疑わしい場合は
直ちに連絡！

写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所（State Central Veterinary Laboratory in Mongolia）

ランピースキン病の侵入防止対策

01 毎日の健康観察

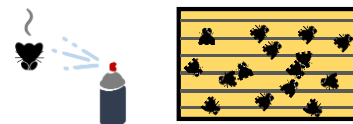
早期発見・早期通報が重要。

疑わしい牛は隔離し、牛の導入、出荷、移動時は健康観察を徹底。



02 害虫の駆除

殺虫剤の散布とともに粘着シート等も活用。



03 清掃・消毒

衛生管理区域内の整理整頓を徹底し、飼養管理に使用する器具や畜舎等の施設は清掃と消毒を実施。

京都府中丹家畜保健衛生所 福知山市字半田371-2

☎：0773-25-1860 *休日・夜間は転送されます